



第161号

中之条自治会

就任のご挨拶

西澤 誠

平成二十九年 自治会長



新年の幕開けは暖かく過ごしやすいお正月となりましたがその後は一転、寒波の到来で寒く大雪にもなり大忙しの日々となりました。立春となり、ようやく過ごしやすい季節となりました。今年も皆様にとりまして災害のない良き年でありますようお願いいたします。

昨年十二月に行われました自治会長選挙により任名をいただきました。自治会長をお受けするような器を持ち合わせておりませんので困惑しました。重責であり自分に来るのかと思うと身が引き締

まる思いであります。自治会員の皆様のご協力をいただき務めさせていただきますと思っております。

幸い副自治会長に平田敬一氏、会計に岡田基幸氏、総務に中沢守人氏、公民館長に五十里明義氏の各氏にお願い致しました。快くお受けいただきました。各氏とも経験豊かです。中之条に熱い志のある方々であります。また各ブロックからもスムーズに正・副ブロック長を選出していただきました。特別協議員小坂井市会議員様を含め二十二名で自治会運営をして参りますので何とぞよろしくお願い申し上げます。

さて昨年の上田市は真田丸で始まり真田丸で終わりましたが大変に賑わった一年であったかと思えます。今年に入りアメリカ大統領にトランプ氏が就任致しました。色々な発言をしていますので皆さん

も気になっていいると思いが落ち着いた一年であつてほしいと願うばかりであります。現在進めております「わがまち魅力アップ応援事業」の中で我が中之条自治会では『中之条誌』の発行を掲げ取り組んでおります。諸事情があり六ヶ月ほど遅れておりますが九月頃迄には発行できる予定です。購入予定の方は、部数に限りがありますので、必ず予約をしてお買い求めください。まだ予約されていない方は中之条誌予約申し込み案内を再度回覧致しますのでご記入願います。

ここ数年、中之条地区内の農地が宅地化されております。ツチで分譲が進んでおります。今後五、六年はこのような状況が続く急激な人口増加が予想されます。大幅増加となればブロックの枠組みの見直しも当然必要となつてくると思つております。新しく中之条に住居を構えられた皆様、ようこそ中之条へ。皆様には公民館活動などに積極的にご参加いただきたく思います。

最後となりますが、昨年の西澤俊郎自治会長はじめ役員、協議会の皆様、一年間ご苦労さまでした。心より感謝申し上げます。さて就任のご挨拶と致

退任のご挨拶

西沢 俊郎

平成二十八年 自治会長

木々が芽吹き始め春の訪れを感じる季節になりました。自治会員の皆様方には益々ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて昨年は自治会長の大役を仰せつかりましたが、お陰様で一年間何とか務めさせていただきました。これは副自治会長、会計、総務部長はじめ協議員の皆様、各自お仕事をもちながらも自治会役員としての責務を果たして下さった結果と感謝しております。幸いこの一年間自治会内に大きな事故や災害もなくよかったですと思つております。微力のためご期待に応えられず、至らぬ点が多々あつたかと思ひますが、私にとつて尊い経験を見せていただきながら会長の職責を果たし終えることができましたのは、会員の皆様のご支援、ご協力の賜物と厚くお礼申し上げます。

このところ中之条は急速に都市化が進み、宅地造成、新築が盛んに行われています。平成二十八年度の新規自治会加入世帯は五〇戸を超えました。生活環境を考えるとまだ

まだ改善の余地はあるにしても、中之条は暮らしやすい良い場所だと言えるでしょう。平成二十二年度より自治会がブロック制になり早七年が経過し、最近では各ブロックの世帯数をみても偏りが目立つようになってきました。見直しの時期が近づいているというところでしようか。これからの自治会には人気があり成長する中之条をより良くするため施策を少しずつでも講じてゆく必要があるでしょう。

昨年は予定で埋まったカレンダーを毎朝確認するのが日課でした。しかし、今年のそれは数字だけが整然と並び、ちよつと味気ないですがスッキリしています。また、訪問者は勿論のこと電話や郵便物もめつさり減り、静かな毎日を送つています。今になればあつという間に過ぎ去つた慌しい一年が夢のようです。これからはマイペースでボケ防止を考えながら自分の時間を過ごしていきたいと思ひます。

本年度の自治会役員の皆様方は、経験豊かな方々がお揃いですので、自治会運営に持ち前の力量を大いに発揮されるものと思ひます。最後になりますが、自治会の発展と会員の皆様のご健勝を祈念申し上げ退任のご挨拶といたします。

生活環境部より

部長 岩松 寛

今年度、生活環境部長を仰せつかりました第一ブロックの岩松と申します。皆様方のご理解とご協力を頂き、より明るい清潔な街づくりを推進して行きたいと思っております。毎日出るゴミ(可燃・不燃・プラスチック等)は分別方法も複雑ですが、今一度パンフレットをご確認して頂き、集積所へお出し下さるよう再度お願い申し上げます。

また、ゴミの集積所は皆様が利用する公共の場所です。決められた袋で、ルールを守り、マナー違反ゴミを出さないよう心がけ、清潔に使用しましょう。最近一部の集積所で時間外にもゴミを出されている箇所が見られます。ルールを守って頂きたいと思えます。

市ではごみの減量化・再資源化に向けたキャッチフレーズを昨年度作成しました。信州上田「ごみ減量大作戦」「わけて(分別)！・へらして(減量化)！・いかそう(資源化)！」あなたのご手間「ごみ」から「資源」に！

今年も、春秋二回の環境美化清掃、ゴミゼロ運動等を計画していますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

土木部より

部長 涌井 芳久

本年度、土木部長を仰せつかりました。各ブロックで選出されました委員長と共に一年間宜しくお願い致します。

今年も恒例の春の環境整備を四月に実施します。区民全員参加の作業ですので、お忙しいと存じますが御協力をお願い致します。作業内容は道路の土壌及び側溝水路の汚泥の除去作業と可燃物、不燃ゴミ等のゴミ拾いですが、土壌と汚泥処理に付きましては昨年と同じ指定された集積場所をお願い致します。

作業には一輪車が必要になると思いますが、お持ちの方はお貸し願いたいと思えます。不燃ゴミ、廃プラ類、可燃ゴミ等は各ブロック毎に分別して、精穀所南側へ搬入して下さい。美しい中之条となります様に皆様のご協力をお願い致します。土木部の年間予定では、春と秋の二回、児童公園の草刈を計画しております。一年間土木部員一同、一生懸命努めて参りますので、どうぞ宜しくお願い致します。皆様方には体調を崩されません様にお過ごし下さい。

安全部より

部長 竹内 攻一

平成二十九年度の安全部長を仰せつかりました竹内と申します。

中之条に居を移してから二十数年、これまで仕事の都合などで地域の活動にはほとんど参加できていませんでしたが、昨年仕事もようやく落ち着きました。このようになると、引き受けました以上は地域の安全のため、一所懸命努力する所存ですので、一年間どうぞよろしくお願い致します。

安全部の活動ですが、先ず地域住民と、一般の方々の交通の安全を確保する一助として、春に道路の白線引き・カーブミラーの清掃作業を行います。そして安全協会城下支会の活動として、春・夏・秋・冬・年末の交通安全運動期間中に街頭指導を行います。更に毎年のことですが、七月には車両協力費の納付のお願いをする予定になっております。この車両協力費につきましては、安全部員が皆様のご家庭に伺い、お願いをすることになりますので、その際には、ご協力のほどよろしくお願い致します。

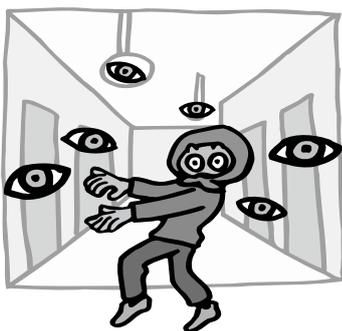
防犯部より

部長 斉藤 茂

平成二十九年度防犯部長を仰せつかりました。各ブロックで選出された防犯指導委員様、お忙しいとは存じますが御協力お願い致します。

「年間行事予定」
四月、春の地域安全運動
五月頃から十月頃まで、上田駅前周辺パトロール
七月、夏の地域安全運動
十月、全国地域安全運動
十二月、年末特別警戒活動
四月から十二月まで月二回防犯指導委員で地区内防犯パトロールを行います。

中之条自治会にお住まいの皆様が、「安心・安全」に過ごせます様、防犯部の皆様と一緒に取り組んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。



第八分団より

班長 中沢 悟朗

寒風に身が縮こまるこの季節、皆様は如何お過ごしでしょうか。暖房器具が必須の時期ですが、その使い方にはご注意ください。先ごろの建物火災をわざわざ例に出さずとも、雨量の少ない上田市は空気が乾燥しやすいため、常に火災のリスクは存在します。

我々消防団は無災害の住みよい地域を目指し、広報や訓練を行っています。しかしあくまでサポート役です。地域の安心・安全は、皆様が持つ防災意識にかかっています。地域防災訓練をはじめとした参加型の啓発活動には、是非とも足をお運びください。ホース格納箱を開ける機会は稀ですが、点検の為に道という道を回ると、数の多さに驚愕します。

このように器具類が充実しているのも、それを維持整備できるのも、皆様のご理解ゆえです。活動に多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。今後も消防団一同、中之条自治会の無災害を願い、尽力する所存です。

農業協議会より

会長 山岸 丈貢

平成二十八年度中之条農業協議会総会が、一月二十九日中之条公民館で開催されました。総会では、平成二十八年度事業報告及び収支決算について説明され、提案された議案は全て承認されました。引き続き新年度会費、機械使用料について提案が行われ、昨年と同額とすることが満場一致で決定されました。また、近年会員数の減少が続いており、一般会計の新年度への繰越財源が厳しくなってきたことから、特別会計から一般会計へ二十万円を繰入れることが提案され承認されました。

現在の農業を取り巻く状況を中之条地域で見ますと、農業人口の高齢化、農地の宅地化などが進んでおり、当協議会の会員数も年度内に八人の脱退があり、年度末には九十人となっております。減少傾向にはありますが、組織としては依然として多数の会員の皆様により維持されており、会員相互の絆を深めながら、地域との密接な連携が採られております。今後、活動の在り方等を含め、ご意見を頂きながら検討を続けて参りたいと思っております。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

営農推進委員会より

委員長 田中 智志

本年度、営農推進委員長を務めさせて頂きます。宮方の田中智志です。

父、袈裟雄から、家業を引き継いでから、数年、御依頼頂いている稲作のお手伝いも最盛期（三十年以上前だと思えます）の半分以上に減少し、私一人でも余裕をもって行えるようになってしまいました。

いよいよ来年度には、国による減反政策が終了し、すつたもんだのT P Pも頓挫し、先行きの不透明感が増す中で、「農を営む」事を色々と思いつ悩む日々を過ごしています。なんて、カッコイイ事言ってますが実状は「楽しんで儲かる作物」がないか探しているだけだったりします（笑）

「営農推進」という名称である以上、減反政策が終了しても委員会は存続しますし、農協さんからも「異なる名目で補助金を出します。」と言われていたので、もうしばらくの間。皆さんにも御苦労頂きたいと、お願い致しまして、御挨拶とさせて頂きます。



精穀所組合より

組合長 中澤 和彦

皆様には、日頃より精穀所組合の運営に対し、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。精穀所も今年度の営業を開始致しました。近隣の精穀所が営業を止められ、昨年は利用者の約四割が区外の方々でした。戦後に幕開けをして今日に至る中之条精穀所は、周辺利用者の方々からも好まれる施設となっております。しかしながら現在、急速な宅地化に伴う利用者の減少等により、精穀所の運営はかなりの困難なものになっております。

最近では明るい話題に乏しい精穀所ではありますが、昨年新たに再スタートをした精穀所審議委員会では、精穀所の今後について有意義な意見が交わされました。新年総会においては、今後の方向性についての貴重なご意見を頂きました。今後は精穀所営業の傍ら、将来についても検討していくこととなります。

八月までの稼働日は第二・第四土曜日です。九月以降については状況を見ながら決めて参ります。入口横に作業予定を掲示致しますので、量の多少に関わらずご利用頂きますようお願い申し上げます。

山林組合総会報告

山林組合長 田中 忠男

二十九年度山林組合第四十七回総会が、一月二十二日十三時より十三時四十五分まで組合員二十八名の出席、委任状六十名の下、公民館で開催されました。

事績報告の主要事項として四月十七日に生島足島神社の御柱祭が挙行され参加した事、紅平山分収造林契約箇所、面積三五・三六haについて、契約期間を十年延長した事等を報告後、総収入百二十二万九千五百円、総支出二十万七千二百二十三円、差引残高百二万二千二百七十七円の会計報告があり、続いて監査報告がなされ、質疑応答に入りましたが、特段意見も出ませんでした。

続いて議長選出、書記・議事録署名人を議長が指名後、議事に入り、二十九年度山林作業は無い事、山林作業手当については従前通りとする事、退会申出者が二名あり退会慰労金を従前通り三千円お支払いする事、組合費についても従前通り千五百円とする事、等を提案後、会計より百二十万三千八百三十円の予算案が提案され、質疑応答に入りましたが、意見も無く了承されました。

その他、組合費未納退会者についてトラブルが生じないようにとの意見が出されました。

中之条の世帯数・人口

市の統計によれば、現在、中之条の世帯数・人口は市内の自治会で3番目。(1番は川辺町、2番は新田) 過去5年間でみると、上位二自治会が人口微減なのに対して、中之条は左表のとおり世帯数、人口ともに大幅に増加しています。この勢いはしばらく続くでしょう。新年会の顔ぶれを見ても、若い夫婦の世帯がグンと増えています。いま中之条は、人口減少・少子高齢化とは逆の流れに乗っています。

中之条自治会の区域の世帯数・人口

	H24.2.1	H29.2.1	増加数
世帯数	1,197	1,423	226
人口	2,925	3,245	500

ブロック別自治会加入世帯数 (平成29.2.18現在)

ブロック	第1	第2	第3	第4	第5	第6	第7	第8	合計
世帯数	107	143	145	81	141	125	135	150	1027

公民館活動について

公民館長 五十里明義



今年の冬は気候の移り変りの激しい季節で始まり、ようやく春の陽気に近づいてまいりました。自治会員の皆様におかれましては益々のご健勝で、ご活躍が出来ることと心よりお慶び申し上げます。

昨年の暮れに西澤自治会長より中之条公民館長とのお話しがありました。私には大役が務まる器ではないのでお断り致しましたが、是非お願いいたします。五役の方には、育成会の野球で指導して頂きました方に、副館長、主事、会計、青少年育成指導員をお願いしまして引受けて頂きました。又各ブロックの運営委員の役員さんと今年一年公民館活動をさせて頂きませんが、自治会、各クラブのご協力とご指導を是非お願いいたします。

公民館を盛り上げていきますので宜しくお願いします。

昨年は、熊本地震、新潟の火災がありました中で、真田一族の真田丸が放映されました上田には他県より観光客が大勢訪れ盛り上がりしました。

中之条自治会は毎年住宅件数が多くなり、若い人が増加しこれから公民館活動が重要な位置付けとなります。そこで文化活動、体育活動、青少年健全育成活動、人権同和教育活動が大変重要になり、中之条区民の皆さん全員で地域親睦を図り、中之条公民館がより良い位置付けになる様に協力をお願い申し上げます。

本年度行事予定

◆体育活動

区民レクリエーション

マレットゴルフ大会 (5月)
区民球技大会 (6月)

ソフトボール

ビーチバレーボール
城南地区運動会 (10月)

◆文化活動

道祖神祭り

(育成会 PTA)

中之条公民館

各部合同親睦会 (4月)
上田わっしょい (7月)
ふるさと夏祭り (8月)

しいのみ園合同文化祭 (11月)

城南地区文化祭 (11月)
中之条公民館 (11月)

各部活動報告 (11月)

◆社会教育活動

人権講座 (6月)
青少年健全育成懇談会 (6月)

人権同和教育懇談会 (10月)

平成二十九年役員及び運営委員紹介 (敬称略)

館長 五十嵐明義

副館長 西澤 忍

主事 石川 博一

会計 山田 晃一

青少年育成指導員 成沢 敏彦

自治委員

第一ブロック 片町 守康

第二ブロック 櫻井 要人

第三ブロック 新村 光弘

第四ブロック 吉越 敏文

第五ブロック 青沼 正博

第六ブロック 中澤 教

第七ブロック 宮坂 晃

第八ブロック 石井 昭子

青少年健全育成会長 高橋 隆太

PTA中学校支部長 小林ゆう子

PTA小学校支部長 小坂井 晃

ふれあい協議会長 堀 由比子

◆クラブ長

ソフトボールクラブ 立岩 和夫

民謡クラブ 足立 敏男

謡曲クラブ 田中 忠男

花と緑の会 西澤 和也

囲碁クラブ 桑原 晃

カラオケクラブ 足立 敏男

もくいい会 西澤 一江

ふら・アロハ 中澤 道子

中之条バックアップクラブ 塚田 吉和

各クラブで新入会員を募集しております。お申し込みは各クラブ長までお願いします。

◆今年の道祖神の様子

1月28日に行われた道祖神祭りの様子を紹介いたします。



道祖神は子供の神様
お孫さんの健やかな成長を祈って

どこの道祖神でも子供たちが元気な声でお接待



今年も沢山の人がお参りに来てくれました。

宮川神社より

総代 山岸 弘明

中之条自治会の皆様、氏子の皆様、日頃より宮川神社の諸行事にご理解とご協力を頂き心より御礼申し上げます。

宮川神社の歴史は非常に古く一二五九年以前の創建であると伝えられており、神社の境内には本殿をはじめとして稲荷社、金毘羅社等八社が祭られております。

この宮川神社は中之条、千曲町(旧中之条村)の氏神様で有り、私の子供の頃は境内に土俵が有り小学生の相撲大会が毎年開かれておりました。一年を通して子供たちの遊び場として賑わったものであります。

この神社を、中之条の住民として長く後世に伝え守って行く事が私達の務めと思っております。

尚、宮川神社の詳細につきましては、近々出版予定の中之条誌の中に克明に記載されておりますので是非お読みください。

宮川神社の現状は氏子の数も年々減り現在は一九八戸の氏子により維持運営されております。高齢化も有り存続が難しい状況になりつつ有ります。

自治会の皆様には氏子会に入会され、宮川神社の存続に力をお貸し頂きます様お願いを申し上げます。

近況報告

一月一五日には武田信玄公が必勝祈願を執り行ったの言い伝えによる、神願綱撚が行われました。

大勢の氏子の皆さんの協力により、今年も社前の大木に立派な神縄を飾り付ける事が出来ました。

宮川神社年間行事予定

- 一月 一日 初詣
- 一月 七日 定期総会
- 一月一五日 神願の綱撚
- 二月十一日 初午祭
- 三月十九日 新入学児童安全祈願祭
- ソフトボール部必勝祈願祭
- 四月八〜九日 春祭り
- 十月七〜八日 秋祭り
- 十二月十七日 大祓い
- 十二月三十一日 二年詣り

平成二十九年度宮係

- 総代(六工南) 山岸弘明
- 副総代(宮方) 西澤和也
- 会 計(上組) 西澤義孝
- 齋田係(六工東) 金井隆志
- 研修係(柳堂) 小山朋樹
- 会計係顧問(新道) 北沢憲司
- 齋田係顧問(下組) 西澤健司

中之条誌編集委員会便り

編集委員長 中沢 賢

まず、近況をご報告します。資料からの初稿の原稿作りは後わずかとなりました。できた原稿は出版社の校正、指摘を受け、修正原稿を作成。同時に区内外の関係者、権威に読んで頂き、その指摘や新しく見つけた資料などを参考に、訂正、修正を繰り返してまいります。一部は章毎に組み原稿として既に版組に入っている。それが終わると図表写真を出版社と相談して決めることとなります。

先月号でご報告の通り、やむを得ぬ諸般の事情により、原稿作成作業が遅れておりましたが、市役所にご理解をいただき、完成年度を一年延期していただくことになりました。一年延ばすといっても、なるべく早く皆様に中之条誌をお届けできるようにしたいと、編集委員一同頑張っております。いろいろな方に原稿や各種歴代役員表などを読んで頂くと思いがけないご指摘と有益な意見をいただきありがとうございます。いろいろな不備に気づき、どうせならある程度時間を掛けて、興味を以て読んで頂ける、何かと役立つ冊子にせねばと考えている所です。

寄贈美術品の紹介

西澤 誠

一月二十四日、小林松太郎氏の長男幸雄氏より、趣味の世界で梅の水墨画を描く事でお有名となった練斎の屏風(写真)を寄贈していただきました。

無傷の大変立派な屏風は大広間の床の間に展示させていただきます。小林様ありがとうございました。

【練斎】

正式名は居定・通称西澤島次
中之条出身、塾生三〇〇名程
(一七九五〜一八八一)



編集後記

正月、雪景色の十五日、宮川神社の神縄祭に初めて参加しました。大縄をなうのは三人の共同作業。その中に入ったいはいいが、どうにも握力が続かない。長老の方々は余裕の表情。冗談を言いながら淡々と手を動かしておられる。さすがですね。出来上がった太い縄を大木に張り渡し、御幣のようなもの十二個を縄に並べて差しこんで完成。これがあると武田軍の騎馬武者を模したものだ。実に上手くできている。戦勝祈願してここから出陣したとのこと。行事のあとでいただいた熱い豚汁も格別でした。ただ、還暦に近い小生が「若手」というのがちよつと心配。子供達にミニサイズの神縄づくりで参加してもらえば、祭もにぎやかになって、ほんとの若手も育っていくのでは。この珍しい伝統行事が子々孫々まで受け継がれていくことを願います。

今年度は左の七名で千曲藻の編集を担当します。皆様、ご協力の程よろしくお願います。(守)

- 山内 公平 塩寄 泰
- 中沢 茂 石塚 尚美
- 小松 淳 寺島 智志
- 中沢 守人